

平成21年度予算編成方針をお知らせします！

『安心・安全で、夢のある、明るい志木市』の実現に向けて

市の財政状況

志木市行財政再生プランに掲げられた政策課題に積極的に取り組み、市民の皆さんの温かいご理解と深いご協力をいただきながら、住民サービスの向上を図るとともに、集中的に行財政改革に取り組んできた結果、平成19年度決算において、本市の市債残高は、平成17年度末に約312億円あったものが、将来に負担を先送りすることなく、約15億円減少させ、約297億円にする財政運営を行うことができました。

また、実質単年度収支についても、約5億円の黒字となり、経常収支比率についても、84%と、実質的な自主財源が伸び悩む中で、義務的経費などの行財政改革を進めることにより、新たな政策課題に取り組めるための財源を確保しようとしてきた成果もみられるようになりました。

「安心・安全で、
夢のある、明るい
志木市」を実現！

平成21年度も、見込まれる政策課題に伴う歳出は増加傾向にあり、その一方で歳入は、昨今の景気停滞に伴い税収の伸びが期待できない見通しです。地方交付税についても、総務省の2009年計画案では、本年度比3.9%減を予想しており、歳入全体について、明るい材料が現時点では見あたらない状況にあります。

具体的な予算編成方針

- 市民サービスの向上と財政健全化のバランスを図る
- 市民が志木市の将来に明るさを感じ取れるような施策を実施

このように引き続き、厳しい財政状況にはありますが、平成21年度予算編成では、市民サービスの向上と財政の健全化の両面のバランスを図るとともに、市民が志木市の将来に明るさを感じ取れるよう、財源と施策については、より具体的に、選択と集中を図り、「安心・安全で、夢のある、明るい志木市」の実現を実感できる予算編成を行います。

具体的事項

歳入確保の推進

滞納整理強化で、 収入未済額の減少努力

平成19年度決算での収入未済額は市税では約7億2000万円、国民健康保険税では約11億4000万円、保育園入園児童保護者負担金では約1400万円、学童保育保護者負担金では約400万円、入学貸付金については約200万円であり、市民の負担の公平、適正化を図るためには、着実かつ継続的な徴収努力が必要で

このことから、自主財源の根幹をなす市税をはじめとして使用料や負担金などの滞納整理を強化して、収入未済額の削減に努めることとし、その見込額を歳入予算に計上します。

特に保育園入園児童保護者負担金、学童保育保護者負担金、入学資金貸付金については、本年度に引き続き、平成21年度も、滞納対策を確実に実行し、収納対策強化を徹底します。



インターネット公売も滞納整理対策です

安心・安全な街づくりをめざします！

待機児童ゼロをめざす施策の推進



育児休業制度の定着とともに、育児休業期間の終了後の保育園の入園希望が増加しています。また、共働き世帯の増加及びマンション・戸建ての新築など転入増などに伴う人口の増加による保育園の入園希望者は増加の傾向が続いています。そこで、平成21年度は、児童福祉審議会から示された「民営化」の答申を踏まえ、他市の運営状況を把握しながら、市の遊休地を活用した民設民営の保育園の設置など保育園運営のあり方について検討し、待機児童ゼロに向けた施策の立案に取り組んでいきます。

また、保育園の入園選考基準についても、保護者の多様な勤務形態や今日の保育事情及び市民ニーズを踏まえて見直しを行います。

新型インフルエンザ (H5N1型) 対策の行動計画策定

世界的大流行が懸念されている新型インフルエンザ (H5N1型) の脅威に目を向け、危機管理として、あらかじめ正しい知識をもち、新型インフルエンザ行動計画及びマニュアルを策定し、適切な事前準備を行い、市民を新型インフルエンザから守るため、あらゆる施策を講じます。9月には、国立感染症研究所研究員である岡田晴恵さんを講師に招き、新型インフルエンザについて共通認識を持ち、施策に取り組むため、市職員などを対象とした研修会を実施しました。来年の1月には岡田晴恵さんを招いた市民向けの講演会を開催する予定です。



市職員に新型インフルエンザについて講演する岡田晴恵さん

スポーツ振興計画の着実な推進



12月中旬には宗岡第四小学校の校庭に屋外トイレが設置されます

「いつでも どこでも だれでも スポーツが楽しめる 夢のあるまち」の実現をめざし、平成20年度にスタートした「スポーツ振興計画」に掲げた数値目標を達成すべく、平成20年度は、宗岡第四小学校の校庭を快適なスポーツ環境に整備しましたが、平成21年度も計画的に事業を実施していきます。特にスポーツに親しむ日の制定やスポーツフェスティバルの開催など、スポーツを身近に楽しめる機会を継続的に提供していきます。

また、快適なスポーツ環境を計画的に整備するとともに、学校体育施設のバリアフリー化を段階的に進め、市民のスポーツ活動の推進に努めます。

公共施設耐震化等の推進

小・中学校や市所有の公共施設の耐震化等については、市有建築物耐震化等改修促進計画及び道路橋りょう安心安全化計画を策定し、国庫補助金などの特定財源を最大限活用し、負担軽減を図るとともに、公共建築物耐震化基金を活用し計画的かつ効率的に実施していきます。



今年度耐震補強工事を実施した志木中学校校舎 (写真は工事中の様子)

(仮称)総合健診センターの整備促進

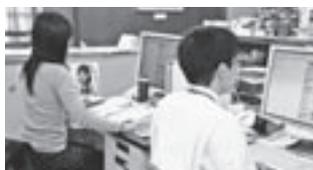


(仮称)総合健診センター完成予定図

市民の健康面での安心・安全を実現するため、特定健診とがん検診を同時に受診できる(仮称)総合健診センターの平成21年度のスタートに向けた整備をすすめ、特定健診・特定保健指導及びがん検診の受診率の目標達成に努めていきます。また、同センターが、地域の事業所の定期健康診断の実施機関としても貢献できるよう、受入体制も整備します。

さらに、とりわけ、本市の乳がん・子宮がん検診の受診率が低い現状に鑑み、女性が受診しやすい環境を整備し、レディースデーの設定にも取り組み、特に、子宮頸がんの検診体制などについては、医療技術の進歩を踏まえ、最新の設備を整え対応するよう、考慮していきます。

IT行政の推進と情報セキュリティ対策の充実



秘書広報課では、現在、より見やすく使いやすいホームページをめざし全面的なリニューアルをおこなっています

市ホームページについては、市民に見やすく、必要な情報に簡単にアクセスできるよう、編集し直し、最新の情報に随時更新し、開かれた市政をホームページからも実現し、ホームページからアクセスしたデータで市政を適切に評価できるよう、情報の公開に努めます。

とりわけ、長の附属機関である審議会などの情報については、会議録を含め、ホームページ上で公表していきます。

また、市民生活に欠かすことのできない行政情報を保有する地方自治体においては、日常的に業務の中で、さまざまな個人情報を取り扱っており、これらの個人情報は取り扱いを誤ることにより、市民生活に重大な影響を及ぼすとともに、市民の行政に対する信頼を大きく損ねる結果となるため、IT行政の推進による市民サービスの向上と事務の効率化を図るとともに、時代に適合した適切な情報セキュリティ対策を講じていきます。